

国語

注 意

1. 問題は全部で16ページである。
2. 解答用紙に氏名を忘れずに記入すること。
3. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
4. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
5. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

マーク・シート記入上の注意

1. HBの黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する番号の○を塗りつぶしなさい。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

解答記入例(解答が1のとき)

1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7	<input type="radio"/> 8	<input type="radio"/> 9	<input type="radio"/> 0
---	----------------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことになる。
5. 解答用紙をよごしたり、折り曲げたりしないこと。

一 次の文章を読んで、後の問に答えよ。

承認欲求は人間にとって「最強」の欲求である。人は認められることで直接その欲求を満たせるだけでなく、A 有形無形の報酬を獲得し、関連するさまざまな欲求も充足できる。また承認欲求があるからこそ、尊敬や信頼といった好ましい対人関係も構築できる。まさに、いいことずくめのようなのである。

ところが、あることをきっかけに、こんどは獲得した報酬や築き上げた人間関係にとらわれるようになる。しかも、そこから容易に逃れられない。それが「承認欲求の呪縛」である。

ちなみにアンケートを取ると、なんと三分の一の学生が呪縛に陥った経験があると答えた。それがきっかけで受験に失敗したり、不登校になったりした子もいる。^{*} ミシュランの三つ星をとったのが、またオリンピックで銅メダルをとったのがきっかけで、自殺した人も、背後には「承認欲求の呪縛」があったと想像される。

私たちの身のまわりには、呪縛に陥るリスクが数多^{あまた}ある。あからさまな名誉欲や自己顕示欲などと違って、ごく普通の人が無意識に抱く「認められたい」という思いが、気づいたとき本人を追いつめている。意外に思われるかもしれないが、それが重症化しているケースは少なくない。一つの実例をもとに考えてみよう。

近年、病院では看護師の人手不足が深刻さを増している。欠員が出てもなかなか採用できないうえに、せっかく採用しても長続きしないケースが多いのだ。とくに経験の浅い若手や、子育て中の人をいかにつなぎ止めるかが大きな課題になっている。

そこで対策として、待遇や子育て環境の改善と並んで近年注目されているのが、B であり、積極的にほめる取り組みなどのほか、職員¹のヒヨウシヨウ制度を取り入れるところも増えている。

ある民間の病院では、看護師を含めた職員のなかから毎年、最も模範になるような職員を院長が選び、MVP(最優秀職員)としてヒヨウシヨウしている。そして受賞者には、院長からかなり高額¹の賞金が贈られる。

C

、なぜか受賞者の多くが受賞後、比較的短い期間に辞めていくそうである。はりきって働き続けてもらうために

ヒョウシヨウ制度を取り入れたはずだが、皮肉にもまったく逆効果になっているわけである。

この話を聞いたとき、私は原因として三つの可能性があると考えた。

一つは、ヒョウシヨウされたくらいだから自分は市場価値が高いと思込み、より待遇のよいところへ転職していった可能性である。しかし、明らかにになっている情報で判断するかぎり、その可能性は低いようだ。

二つ目は、D という仮説である。たしかに一部では、「MVPだからそれくらいやりなさいよ」と言われたという声も漏れ聞かれたそう。しかし、たいいていの受賞者は優秀かつ勤勉なので、そうした嫌みを言われるのはむしろ例外だろう。

E 考えられるのが、2 三つ目の可能性だ。その謎を解くヒントは、私たちがしばしば経験する次のようなシーンにある。

新聞のチラシに載っていた格安のスーツを買いにデパートへ出かける。バーゲンのコーナーで安いスーツを試着していると、店員がやってきて、いろいろとアドバイスしてくれる。雑談を交わしているうちにだんだんと打ち解けてきて、つい「ちょっと気の張るパーティーで着るからねえ」とか、「下っ端のうちは安物のスーツでもよかったけれど…」などと余計なことを口走ってしまう。

F 店員はその言葉を聞き逃さず、「地位のあるお方ですから」とか、「風格がおありなので…」と持ち上げて、もっと高級なスーツを勧める。気分をよくして予算を大幅に超えるスーツを買ってしまった。おまけに店員が好みの女性だったので鼻の下を伸ばし、ついつい高価なワイシャツやネクタイまでセットで買わされるハメになった³。

ぼったくりバーにしても、いわゆる「ホメホメ詐欺」にしても、自分をよく見せたいという、ちょっとした承認欲求にうまくつけ込まれるわけである。

私たちが使っているツイッターやフェイスブック、インスタグラムなどのSNSも、軽い気持ちで使いはじめたものの、だんだんと「認められるように書き込みをしなければいけない」というプレッシャーを感じるようになるケースが多い。

私が二〇一八年一二月にインターネットを使ったウェブアンケートで「他人から認めてもらわなければいけない」と思いながら

書くことはありますか？」と尋ねたところ、SNSを使っている人(四〇九人)のうち五六・四%の人が「しばしばある」もしくは「たまにある」と答えた。

ちなみに「だれに認めてもらわなければいけないと思いますか？」という質問に対しては「友だちや知人など」が七四・七%で、「不特定多数の人」(三四・三%)の二倍以上に達する(複数回答)。SNSの上でも身近な人からの承認にとらわれている実態が浮かび上がった。

とくに子どもの場合、大人との間にははつきりした上下関係が存在する。そのため大人から認められたりほめられたりすると、いつそうそれにとらわれてしまうことがよくある。へたをすると、それが進路や将来に暗い影を落とす。

近年、教育の現場では子どもたちの自己肯定感や自尊心の低さが問題視され、児童・生徒をほめて育てようという気運が高まっている。実際にその効果はあらわれはじめている。

しかし、効果があるだけに副作用も大きい。一般にほめるのはよくて叱るのは危険だといわれるが、受け止め方によっては叱るより、むしろほめるほうが危険な場合もある。叱られたら反発する子も、ほめられたら否定することが難しいからだ。

具体的な事例からも、周囲の期待が「承認欲求の呪縛」をもたらす一つの要因だということがわかる。ただし、正確にいうと、本人がその期待をどれだけ意識しているかが問題であり、実際にどれだけ期待されているかは問題ではない。したがって、それを「認知された期待」と呼ぶことにしたい。

しかし、いくら「認知された期待」が大きくても、やすやすと期待に応えられるなら何も問題はない。呪縛に陥るかどうかは、本人がその期待からどれだけプレッシャーを受けているかによる。

いずれにしても、「認知された期待」から受けるプレッシャーこそが「承認欲求の呪縛」の正体だといえる。(A)

こうしてみると、先に紹介した、ある病院でMVPヒーウシヨウを受けた職員が次々と離職した理由もおおよその想像がつく。おそらく「期待に応えなければいけない」というプレッシャーが、それ以上働き続けるのを困難にするほど大きく感じられるようになったのだろう。

認められたらそれに縛られ、承認を手放せなくなる。そして苦しむ。多くの人は、そのことを経験的に学んでいく。なかには、そうした事態に陥らないため、あらかじめ自己防衛の行動をとる人もいる。一つは、過大な評価を受けないよう、わざと自己評価を下げようとする行為である。(B)

代表的なものとして、「セルフハンディキャッピング」という行為があげられる。

たとえば、大事な試合の前には、必ずといってよいほど体のどこかを痛めたとか、体調が悪いといったふりをしている人。わざと周囲に期待を抱かせないようにしているのだ。「けがをしているのだから勝てないだろう」と思わせたいわけである。これといった大きな故障がないにもかかわらず、いつも手や足にサポーターを巻いたり、体に絆創膏を貼ったりしているスポーツ選手は、もしかすると「期待しないでください」というメッセージを送り続けているのかもしれない。(C)

わざと無能を装ったり、「ワル」ぶったりして自分の値打ちを下げる行動をとる場合もある。素直な優等生だった子が思春期になって突然、髪を赤や黄色に染めたり、乱れた服装でうろついたりするようになることがある。思春期は「自律の危機」に敏感になる時期だけに、このままでは親や教師の期待に操られてしまうと感じてわざと反抗し、期待を抱かせないようにしているのである。(D)

承認の重荷から逃れようとする、もう一つの方法はあらかじめ評価の下落を防いでおく行為である。

先に説明したセルフハンディキャッピングには、あらかじめ大きな期待をかけられるのを防ぐとともに、失敗したときに自己評価が大きく低下することを予防しようという意図も含まれている場合が多い。(E)

ところで、小中学校の教育現場では、「努力をほめるのはよいが、能力や成果をほめるのは控えたほうがよい」とよくいわれる。能力や成果をほめられた子どもは、期待を裏切らないため、そして自信をなくすのが恐いため、失敗のリスクをとまなうものに挑戦しようとしなくなるからである。

しかし、だからといって努力をほめればよいかというと、そうとも言い切れない。なかには努力をほめられると「がんばらないといけない」というプレッシャーで学校に行けなくなる子がいるし、逆に効率的な努力かどうかを考えずに、がむしゃらに

んばってしまう子もいる。

どのようなほめ方が望ましいかという議論はさておき、学校に行かないというのは見方によればプレッシャーへの一つの対処方法である。また、先に述べたように自己防衛のための異常にも映る言動(セルフハンディキャッピング)も、⁶自分が置かれた状況に対処するために必要だったとも考えられる。むしろこのような自己防衛的行動をとらず、周囲の期待を真正面から受け止めてしまう人が危ない。

(太田肇「承認欲求」の呪縛」による)

(注)

* ミシユランの三ツ星II フランスのタイヤメーカー、ミシユラン社が発行しているレストラン・旅行案内書で、レストランの等級を星印で表示し、三ツ星は最高レベルを表す。

問一 空欄

A

に入る語句として最適なものを、次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 1。

① 棚ぼた式

② ねずみ算式

③ 芋づる式

④ 濡れ手で粟的

⑤ 瓢箪から駒的

問二 空欄

B

に入る語句として最適なものを、次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 2。

① 評価

② 認証

③ 認定

④ 承認

⑤ 評定

問三 傍線部「ヒョウショウ」を漢字に直した場合、最適なものを、次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は

3。

① 評賞

② 表彰

③ 評奨

④ 表賞

⑤ 評証

問四 空欄

C

E

F

に入る語句を順番に示した最適な組み合わせを、次の①～⑤から選び、記号

をマークせよ。解答欄番号は 4。

- ① けれど・むしろ・つまり
- ② ところで・しかし・むしろ
- ③ つまり・けれど・ところが
- ④ そして・つまり・かえって
- ⑤ ところが・そこで・すると

問五 空欄

D

に入る文として最適なものを、次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 5。

- ① 周囲からのねたみに耐えられなかったのではない
- ② 増え続ける仕事に耐えられなくなったのではない
- ③ 責任の加重に、心身ともに耐えられなくなったのではない
- ④ 仕事上の失敗で、自分の能力に自信をなくしたのではない
- ⑤ 周囲から酷い虐めにあつて、精神的に耐えられなくなったのではない

問六 傍線部2「三つ目の可能性」とあるが、どのような可能性か。その説明として最適なものを、次の①～⑤から選び、記号を

マークせよ。解答欄番号は 6。

- ① 周囲から認められたことに満足してしまい、かえって仕事に対してやる気を失った可能性。
- ② 期待に応えなければならぬという精神的重圧から働き続けることが出来なくなった可能性。
- ③ MVPに選ばれ自信過剰になったことから、職場の人間関係がうまくいかなかった可能性。
- ④ 人から認められたいという思いがますます強くなり、精神的に不安定になって働けなくなった可能性。
- ⑤ 人にほめられると気が大きくなって散財をくりかえし、経済的に破綻して職場にいられなくなった可能性。

問七 傍線部3「ハメ」を漢字に直した場合、最適なもの、次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 7。

- ① 歯目 ② 葉芽 ③ 羽目 ④ 嵌 ⑤ 填

問八 傍線部4「むしろほめるほうが危険な場合もある」と筆者は述べているが、それはなぜか。その説明として最適なもの、

次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 8。

① ほめられ認められると、本人が増長して努力を怠るようになる可能性があるから。

② ほめられ認められると、自分を高く評価して他者を見下すようになる可能性があるから。

③ ほめられ認められると、自分は他者とは異なり特別な人間だと思ってしまう可能性があるから。

④ ほめられ認められると、本人が周囲の期待を強く意識してしまい、それがプレッシャーになる可能性があるから。

⑤ ほめられ認められると、本人はそれを当然の事と思うようになり、叱られた時の反発が激しくなる可能性があるから。

問九 傍線部5「セルフハンディキャッピング」の例として当てはまらないものを、次の①～⑤から一つ選び、記号をマークせ

よ。解答欄番号は 9。

① わざと勉強ができないふりをする。

② 試合の前に、ことさら周囲に体調不良を訴える。

③ 大事なプレゼンテーションの前に準備不足を嘆く。

④ 周囲の注目を集めるために、わざと目立つ振る舞いをする。

⑤ 試験が近づいているのに、勉強をしていないことを周囲にアピールする。

問十 次の一文は、本文中の(A)(B)(C)(D)(E)のいずれかの箇所に入る。この一文が入る最適な箇所を、次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **10**。

たとえ失敗しても、「体調が悪かったので実力が発揮できなかっただけだ」「実力はあるのだけれど、勉強しなかったから落ちたのだ」と思ってもらいたいのである。

- ① (A) ② (B) ③ (C) ④ (D) ⑤ (E)

問十一 傍線部6「自分が置かれた状況に対処するために必要だったとも考えられる」とあるが、どういふことか。その説明として最適なものを、次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **11**。

- ① 学校に行けない状況を打破するために必要だったということ。
② 自分自身の承認欲求を満足させるために必要だったということ。
③ 自分が周囲の人間から傷つけられないようにするために必要だったということ。
④ 周囲の人から承認を得るためには、自己防衛的な異常な行動も必要だったということ。
⑤ 大きな期待をかけられるのを防ぎ、失敗したときの自己評価の下落を防ぐために必要だったということ。

問十二 本文の内容と合致しないものを、次の①～⑤から一つ選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **12**。

- ① 友だちや知人など、身近な人からの承認にとらわれている人が多い。
② 人に認められたいという思いは、好ましい対人関係を築くためにも必要である。
③ 本人が周囲の人から期待されていると強く意識することは、精神的な負担になる。
④ 周囲の人間の期待は、本人にとって負担になることが多く、利するところは少ない。
⑤ 人は、他者に認められる重圧から逃れるために、故意に自己評価を下落させることがある。

二 次の文章を読んで後の問に答えよ。

政治を認識するための概念装置¹の混乱について注目してみます。政治を論じるにあたって「保守」「右翼」「左翼」「リベラル」といった言葉が頻繁に用いられます。これらの言葉を聞いたことがあると言う人は少なくないでしょう。

ですがこれらの意味をきちんと説明できる人は少ないと思いますし、研究者の間でもかなり議論が分かれるのみならず、分野によつて異なつた使われ方をします。そういった事は決して珍しくはありません。

政治をとらえるための概念を理解していなければ、視点が定まらず見るたびに異なつた姿が立ち上がってくるはずですから、政治が難しいと感じられたとしても全くおかしくありません。そしてここにも「わかりにくさの構造」が存在します。

政治を論じたり分析するために人文社会科学や思想で用いられている概念は少なからず欧米圏から持ち込まれたものです。そのうであるがゆえに、もともと想定されていた用法と、日本における現実政治が合致²しないという現象も生じます。

さらに現実政治には現実政治で、別の文脈でそれらの用語を用いてきた伝統があります。自民党における「保守本流」のように。しかもここに来て、現実政治における言葉の使い方がますます混乱しています。最近はどうも「リベラル」という言葉は不人氣で、「保守」が人氣のようで、自民党も、野党も「自分たちこそが本当の保守」だということを言い合っています。また「リベラル保守」などということも言われるようになり、さらに二〇一七年衆議院議員総選挙で希望の党が掲げたように「寛容な改革保守」という後で紹介するような本来の意味を念頭におくと相当矛盾³して聞こえるような使われ方もするようになってきました。

整理するとこうです。現実政治と、政治をとらえる概念装置としての「保守」「リベラル」といった用語は必ずしも合致しませんが。市民活動など実践で使われる文脈を考慮するとますます複雑になります。概念装置をめぐる議論も相当に多様でかつ近年現実政治における用法が変化しています。

アンソニー・ギデンズというイギリスの社会学者に『右派左派を超えてーラディカルな政治の未来像』という著作があります。この本でギデンズは九〇年代のイギリスと世界について興味深い診断をしています。従来、市場の論理に委ねることのなかった

領域さえも市場に委ねることを主張する革新的な右派と、福祉国家を護持(保守)することに専心する左派(革新派)が対抗するなかで、具体的な社会課題が解決されないという政策的な機能不全⁴を起しているというのです。福祉国家ではなく、「戦後民主主義」的価値観などと置き換えてみると、まるで現代日本の姿のようでもあります。

ごくごく大雑把に政治をとらえる概念装置を説明するところから始めてみましょう。まず取り上げるのは現実政治の使われ方ではなく、思想的文脈です。さしあたり大雑把ではありますが「保守」「リベラル」を中心に言及してみることにはしましょう。

◆保守

現代の保守(コンサバティズム)はどこから生まれたのか。西欧思想史研究の一つの見解としては、先に少し言及しましたがフランス革命を起点にして革命肯定派に対して否定的な立場をとったイギリスの思想家エドモンド・バークを祖とする考え方があります。むろんギリシャ哲学から連なる流れがありますが、さしあたり近代史に限定するなら、ひとまずバークが軸となつているといつてもよいでしょう。一八世紀末フランス革命で絶対王政を廃したのち、共和制国家(第一共和制)をつくる過程でさまざま不公正や弾圧が起きました。真偽の不確かな判断によつて多くの人が処刑台に送られるということが起きたのです。

その後のナポレオンの台頭など含めて、この時期フランスは明らかに混乱しました。そのような状況に対して否定的な立場をとったのがバークだったのです。提起されたのはキユウシンセイ⁶と人間の理性、人智に対する懐疑です。もつとわかりやすくいうと人間が頭を使つて考えつくようなことを信頼しないという立場です。

それでは何を擁護するのでしょうか。長い歴史の中で培われてきた歴史と慣習です。それらに重きを置いて保守しよう、つまり少しずつそれらを改良しながらやつていこう、という立場だったわけです。

なるほどなかなか説得的ではありませんが、いくつかの疑問が残ります。もし経済や技術の急速な変化といった外的要因が保守を許さない、つまり穏やかな変化を認めないときにどうするのか、もう一つ歴史や民主主義、共同体に自明の共通感覚を持たない／持てなくなった社会(既にお気づきのとおり、まさに日本社会が該当すると考えています)はどうすればよいのかという問いです。ある立場の人が特定の時代を念頭に置いて、「この時代のあり方が本當の我々の社会の姿だ」と主張しても、別の立場の人

が「いやその時代は特殊で、また別の時代にこそ本当のわれわれの社会の本質があるのだ」という議論になったときに、両者は嘸み合うのでしょうか。ちょっと難しいのではないかというのが筆者の見立てです。

◆リベラル

理性なるものは信頼できない、より大きなもの(歴史に磨かれた知見や慣習等)を重視するという保守の立場に対して、人の理性を信頼しようとする立場がリベラル(リベラリズム・自由主義)です。個人のジリツと自由、その前提となる「理性」を信頼、擁護、重視する立場です。

A 近代史的な意味に限定するならば、カントの『永遠平和のために』などに代表される理性と啓蒙、寛容を重視する立場といえるはずで、少し筆者なりの解釈を加えつつ、いい換えると、「確かに「理性」も信頼できないが、他のものよりは相対的にマシンなので、その限界を踏まえるよう注意しつつ、理性を磨き改善し続けるべきではないか」という立場といえるかもしれません。

ファシズムの台頭が、民主主義的決定が引き金となったこと、不安感情と大衆政治の中から生じてきたことや、アウシュビッツの大量虐殺が極めて官僚主義的で非人間的になされたことがすでに指摘されるとおりです。しかし近現代を生きるわれわれには理性しかないではないか、ということなのです。前述のように、社会の歴史認識や共通感覚はかなりそれぞれの国の状況に依存します。歴史や慣習が共通していない社会や、それが難しい社会の場合、「歴史で磨かれた知恵や慣習」は恣意的なもの、ともすれば政治が主導するものになってしまいかねません。国家は教育内容の決定において大きな影響力を有するからです。そうであるなら頼ることができるのは、難しくとも理性と、それらを支える啓蒙、さらにそれらを擁護する環境としての寛容性ではないかという立場です。EUは現在では難しい局面にさらされていますが、その共生のための設計思想はこれらの影響を少なからず受けています。

概念装置としての保守とリベラルの双方に目を向けてきましたが、思考や発展のプロセスこそ大きく違えど、意外と結論のサ
イが小さいことに気がついた人もいるかもしれません。重視するポイントは違えども、理性には限界があり、間違いを犯しうる

ので、政治と政策は注意深く扱うべきという結論に至るからです。

(西田亮介『なぜ政治はわかりにくいのか』による)

問一 傍線部1「概念装置」とあるが、この文章の中で、「概念装置」とはどういう意味で用いられているか。最適なものを次の①

⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 13。

① 現実政治における政治家の用いる用語の詳細

② 社会の事象を観察し、説明するために用いる抽象的な思考の枠組み

③ 「保守」と「リベラル」の中間的な概念の喩え

④ 誰にとつても視点が定まらず混乱している様子の比喩

⑤ 人文社会科学や思想で用いられている欧米から来た概念

問二 傍線部2「合致しない」とあるが、合致しない理由は何か。最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄

番号は 14。

① 同じ用語でも研究者の間で議論が大きくわかれるため

② 自民党も野党も言葉の使い方が立場によって混乱しているため

③ もともと日本語として使われてきた用語を無理に欧米の概念の翻訳語としてつかっているため

④ 思想上の概念と現実政治とはその使用される文脈が大きく異なるため

⑤ 近年の風潮として、ごく大雑把に政治をとらえることが多くなっているため

問三 傍線部3「矛盾して聞こえる」とあるが、具体的にどのようなように矛盾しているのか。最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 15。

- ① 市民活動など実践で使われる文脈を考えると選挙に用いられる用語として妥当ではないから
- ② 右派と左派との間で、思想的な対立が起きているから
- ③ 歴史の中で、「保守」は一貫して「リベラル」と同一視されてきたから
- ④ 概念装置をめぐる議論も近年多様化していることから
- ⑤ 本来の「保守」は、歴史や慣習を守ることであり、「改革」とは相容れないものであるから

問四 傍線部4「機能不全」とあるが、どのような状態を指しているのか。最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は 16。

- ① 右派と左派とが、本来の保守・革新の機能が逆になってしまっていて相互に動けない状態になってしまった
- ② なんでも市場にゆだねる立場が台頭してきたため、適切な市場管理が不可能になってきた
- ③ 福祉国家の理念が、民主主義的価値観によって置き換えられてきた
- ④ 保守とリベラルの定義が複雑化してきて、学問上の対立が激しくなった
- ⑤ 政策課題の複雑さが、現実政治を越えてきた

問五 傍線部5「否定的」とあるが、どのような点から否定的なのか。最適なものをおの①～⑤から選り、記号をマークせよ。解答欄番号は17。

- ① 革命などの行きすぎを懸念したから
- ② ナポレオンに対して批判的であったから
- ③ 保守的思想の流れを否定したから
- ④ 革命的な歴史について信頼を持っていたから
- ⑤ 技術の急速な変化による要因を信頼したから

問六 傍線部6「キュウシンセイ」とあるが、この部分を漢字にした場合どれが適切か。最適なものをおの①～⑤から選り、記号をマークせよ。解答欄番号は18。

- ① 急伸性
- ② 旧新性
- ③ 求心性
- ④ 休心性
- ⑤ 急進性

問七 傍線部7「噛み合う」はこの場合どういう意味か。最適なものをおの①～⑤から選り、記号をマークせよ。解答欄番号は19。

- ① 整った議論を交わす
- ② 強く反論しあう
- ③ 理論としてまとまる
- ④ 厳しく対立する
- ⑤ 矛盾点を指摘する

問八 傍線部8「ジリツ」とあるが、この部分を漢字にした場合、どれが適切か。最適なものをつぎの①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **20**。

① 自立

② 而立

③ 地率

④ 自律

⑤ 次立

問九 空欄 **A** に入る語句として、最適なものをつぎの①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **21**。

① それでもなお

② さしあたり

③ というよりも

④ にもかかわらず

⑤ そのうえに

問十 傍線部9「それが難しい」とあるが、どのような内容を指しているか。最適なものをつぎの①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **22**。

① 理性を信用することが常に正しいとは限らない

② ファシズムの台頭による社会不安がある

③ それぞれの社会には一種の共通感覚が存在する

④ 政治が国家を主導してしまう

⑤ 歴史や慣習が必ずしも統一されていない

問十一 傍線部10「結論のサイが小さい」とあるが、「サイ」を漢字にすると何になるか。最適なものを次の①～⑤から選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **23**。

- ① 際
- ② 才
- ③ 差異
- ④ 歳
- ⑤ 賽

問十二 この文章の中で述べられていないことを、次の①～⑤から一つ選び、記号をマークせよ。解答欄番号は **24**。

- ① 思想を論じる概念の多くは欧米圏が起源である
- ② 保守は理性を信頼しない傾向にある
- ③ EUは理性を信頼する立場からの影響を受けている
- ④ 日本にとって戦後民主主義的価値観を護持することは重要な課題だ
- ⑤ 理性的判断がひとつのきっかけになりファシズムの台頭を招いた



